

クラウドサービスにより企業のワークスタイル変革を支援するサイボウズ

サイボウズの台湾事務所は、ワークスタイル変革をビジョンに据え、業務支援サービスを台湾で展開するために2017年9月に開設された。今後は現地拠点をもつ日系企業に加えて台湾企業への販売活動を強化する。台湾でも少子高齢化や労働人口確保が課題となりつつある中、日本国内で取り組んできた「働き方改革」や「業務効率化」のノウハウを広く展開することを目指している。今回は、台湾サイボウズの曾根秀和台湾事務所所長を訪ね、台湾での事業環境と今後の事業展望についてお話を伺った。



日商才望子股份有限公司 台湾辦事處
曾根秀和事務所所長

－台湾に進出したきっかけ

サイボウズは海外販路拡大のため、これまでにアメリカ、中国、オーストラリアなどに拠点を開設してきました。大きな市場が見込めるエリアに面展開を行うことが、過去の海外展開の戦略の軸であったといえます。これら海外における契約数は順調に増加しており、さらなる有望エリアのひとつである台湾への進出を決定しました。他にも東南アジアでの営業活動も始めており、アジアの国と地域に点をつなげていくような取り組みを戦略として進めています。

台湾進出の経緯ですが、もともと上海の850社のお客様の台湾拠点对応や後方支援のために台湾では出張ベースで業務を実施していました。その中で、台湾の持つ課題が日本の抱える課題と似ていることがわかり、台湾でもサービスが受け入れられる土壌があるのではないかと考えるようになりました。台湾も日本と似て、出生率が低いことや少子高齢化の進展による労働人口の減少、女性の就業率の高まりなど、ワークスタイルの変革のニーズが高まっています。今後は労働力の確保が難しくなっていくことが予想され、弊社サービスを活用することで業務の生産性を落とさずに業務効率を高めるお手伝いができるのではないかと感じています。弊社には日本での成功体験やノウハウがあるため、それを適応するモデル地域としても、台湾は有望市場であると思っています。これまでに既存サービスの繁体字中国語への対応を行っており、今後は日系企業のみならず現地台湾企業向けの販売も強化すべく、2017年9月に台湾事務所を開設しています。

－台湾での事業内容

台湾では「Garoon」と「kintone」の2つの商品を主に販売しています。

「Garoon」は中堅・大規模組織向けのグループウェアであり、全社員の利用を前提としたシステムです。情報共有・組織マネジメント・案件管理に役立てることができます。特徴としては、あらかじめ様々な機能が設定されており、その中から必要な機能を選んで導入ができるため、導入初日から利用できることがあげられます。また、日中英の3か国語対応となっていること、PCだけではなくスマホやタブレットでも最新の情報にアクセスすることができること、専門のスタッフによる手厚いサポートがあることなどがあげられます。ただ、用意されている機能をベースとしたシステムとなるため、個別のカスタマイズニーズには対応しきれない部分がありました。

一方の「kintone」は業務を対象としており、特定の業務に携わる数人だけでも利用することができるサービスです。各社の異なる業務内容に合わせて、簡単に入力項目や入力方法、仕事の順番や履歴管理などを設定することができます。チーム単位で共有すべき様々な情報を「kintone」でデータベースとして管理することができます。スマホやタブレットでの活用も想定しており、インターネットが繋がる環境であればどこからでも利用できることや、全社単位のシステム投資をせずにチーム単位ですぐにサービスを開始できる点も特徴です。利用シーンとしては、営業管理やワークフローの電子化が多くなっています。営業管理としては、例えば、日報や営業報告書としての利用があります。報告者によって入力内容がバラバラであることや、既存データの収集・過去の検

日本企業から見た台湾

索が難しいこと、担当引継ぎが難しいことなどの問題を抱える企業は多いですが、それらのフォーマットを提供することができます。また、外出先での入力が可能のため、営業訪問が終わったタイミングで入力・報告をすることができます。報告を受けるマネージャーとしても一度に大量の報告書がくることなくするため、業務の負荷分散ができ、業務改善・時間短縮につながるものとなっています。ワークフローの電子化では、出張申請や購入申請などの電子化を行います。今は台北・台中・高雄などそれぞれの拠点とのやり取りを紙で行っている企業がまだ多いと感じています。これを電子化することで承認等のプロセスの進捗把握がしやすくなると共に、リードタイムが短くなり、業務効率が高まることが想定されます。

—今後の事業展望について

台湾は個人のITスキルは高い一方、社内のIT化については遅れている印象があります。そもそもの情報投資がなされていない点や情報共有については従業員が自分の情報を出したくない点などが背景にあるようです。転職をしてスキルアップをする風土がある中で、情報を共有してしまうことで他社に情報を持っていかれるリスクを感じる企業もあるようです。また、SNSツールを業務でも使っている印象を受けており、競合サービスになると感じています。それぞれのツールが果たせる役割は違うため、それぞれの役割や活用法を説明していきたいと思っています。弊社のサービスはセキュリティにも注力しています。ログイン画面は各企業の要望に応じて独自のサブドメインを用意しており、他にもIPアドレス制限やBASIC認証といったセキュリティ機能を提供しています。

弊社が唱えるワークスタイル変革は3本柱となっています。①制度、②ツール、③風土の3つです。これら3つのバランスが取れて初めてワークスタイル変革ができます。①制度については、時短勤務や在宅勤務など、社員それぞれに合わせた制度を作るといことです。②ツールは、これら制度の中で各社員が自身の仕事をきちんと果たすために必要となるものです。最後に③風土ですが、制度やツールを整備したとしても受け入れる風土がないとワークスタイル変革はうまくいきません。

これら変革のステップとして、制度を変えるということも実は容易くないことです。弊社としては、まずは業務単位の見直しから進めていくことを提唱しています。そのためのツールやその使い方を提供しています。これらツールを業務で使っていくことで同時に風土も変えていくことは、どの企業でもできるのではない

かと思っています。

台湾もこれから働き方の多様化が進んでいくのではないかと感じています。会社に来なくても仕事ができる環境を準備していくことが企業の大きな役割だと思っています。多様な働き方を用意することは、生産性を落とさず貴重な戦力を活用し続けられることにつながるため、台湾に限らず労働力が減っていく国にマッチしているサービスなのではないかと感じています。

—ありがとうございました。



自社HP (<https://cybozu.co.jp/20th/#top-movie>)でも働き方改革を推進

日商才望子(股)有限公司 台湾辦事處の基本データ

会社名	日商才望子股份有限公司 台湾辦事處 (日本語名:サイボウズ株式会社 台湾事務所)
代表者	曾根 秀和(事務所所長)
設立	2017年
資本金	非公開
事業内容	業務支援サービス

注)2018年02月の情報による
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理